

令和元年 12月号 (第283号)



あいち・なごや生物多様性 EXPO の開催及び連携事業の募集についてお知らせします (P2)



「第6回三河湾大感謝祭」を開催しました (P7)



食品ロス削減シンポジウムを開催しました (P8)



「あいちウォームシェア 2019」を実施しています (P10)



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



あいち・なごや生物多様性 EXPO の開催及び 連携事業の募集についてお知らせします



2020 年は、COP10（生物多様性条約第 10 回締約国会議）で採択された生物多様性の世界目標である「愛知目標」の目標年であり、「国連生物多様性の 10 年※」の最終年です。

愛知県では、2020 年の 1 年を通じて「つながる ひろがる 生物多様性の輪」をキャッチフレーズに、統一ロゴマークを使用し、啓発イベントや連携事業により、地域全体の気運の盛り上げを図ります。

※：愛知目標達成に向け、国際社会が連携して取り組む 10 年（2011～2020 年）として国連総会で決議。

1 「あいち・なごや生物多様性 EXPO」の開催

全国で行われる生物多様性「せいかりレー」のキックオフイベントとして、多様な主体が取り組んできた成果を共有・発信するイベントを開催します。どなたでも楽しく生物多様性を学んでいただける内容となっています。参加費は無料です。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

(1) 開催概要

日程：2020 年 1 月 11 日（土）、12 日（日）

場所：名古屋国際会議場

（名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号）

主催：国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）、
環境省、愛知県、名古屋市

共催：生物多様性自治体ネットワーク

[主なプログラム]

○シンポジウム 1 月 11 日（土）13:20～17:00

さかなクン（生物多様性リーダー・地球いきもの応援団）の基調講演、あいち・なごやの取組紹介と SKE48、MAG!C☆PRINCE のメンバーを交えたパネルディスカッションなどを行います。

定員 1,500 名、事前申込みが必要です。

○分科会 1 月 12 日（日）10:00～16:30

「あいち・なごやの生物多様性」「生態系の保全・再生」「生態系サービスの持続可能な利用」「多様な主体の連携」という 4 つのテーマについて、各分野の専門家によるコーディネートのもとで、先進的な取組事例等の発表やディスカッションを行います。

テーマごとの定員は 100 名で、事前申込みが必要です。分科会のまとは事前申込み不要です。

○生物多様性交流ひろば

1 月 11 日（土）、12 日（日）10:00～17:00

生物多様性保全に取り組む NPO・企業・学生などのブース出展、アウトドア派タレントの鉄崎幹人さんらによる生物多様性ミニ授業などのステージイベント、地元食材を使ったメニューを提供する生物多様性フードコートなど、多くの人々が交流する空間です。事前申込みは不要です。

(2) 参加申込み

以下の「国連生物多様性の 10 年日本委員会」Web ページ、又は E メール・FAX・郵送により「あいち・なごや生物多様性 EXPO 事務局」までお申込みください。

Web ページ：https://undb.jp/event/5175/

E メール：jimukyoku@onearth.biz

FAX : 052-228-6447

郵送 : 460-0002 名古屋市中区丸の内 2-14-4

詳細は県の Web ページをご覧ください。

生物多様性 EXPO で検索

2 あいち・なごや生物多様性 2020 連携事業の募集

2020 年に県内で NPO・企業・大学・行政等が実施する生物多様性に係る事業・イベントを、「あいち・なごや生物多様性 2020 連携事業」として登録します。連携事業ではロゴマークを使用していただくなど、一体感を持って生物多様性保全を PR していきます。登録申込み、詳細は Web ページをご覧ください。

生物多様性 2020 連携事業 で検索



あいち・なごや生物多様性 2020 ロゴマーク

自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475（ダイヤルイン）

あいち低炭素社会づくりフォーラムを開催します



愛知県では「あいち地球温暖化防止戦略 2030」に基づき、県、事業者及び県民の皆さんとの連携により、2030年度の温室効果ガス総排出量を2013年度比で26%削減することを目指しています。また、地球温暖化対策への取組は、持続可能な開発目標(SDGs)の実現につながります。

このたび、あいち低炭素社会づくりフォーラムを開催し、自動車環境の改善やCO₂排出抑制に積極的に取り組む事業者の表彰を行うとともに、気候変動のリスクやビジネスへの影響、企業の先進的な取組についての講演やトークセッションを行い、低炭素社会の実現に向けた社会構造の転換について考える機会といたしますので、是非ご参加ください。

なお、本フォーラムはCO₂排出量削減の一環として、本フォーラムの開催に伴い排出されるCO₂を、中部産CO₂クレジットを購入することによりカーボン・オフセット(排出されるCO₂の埋合わせ)しています。



1 開催日時

12月23日(月) 13:30~17:00

2 開催場所

ウィルあいち 3階 大会議室
(名古屋市東区上堅杉町1)

3 内容

(1) 主催者等挨拶

(2) 認定証授与

自動車エコ事業所認定証 授与式

あいちCO₂削減マニフェスト2030 認定証 授与式

(3) 基調講演等

- ・基調講演「気候変動リスクと「卒炭素」への道」
講師：国立環境研究所 地球環境研究センター

副研究センター長 ^{えもり せいだ} 江守 正多 氏



江守 正多さん

【プロフィール】

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。1997年より国立環境研究所に勤務。2018年より現職。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次・第6次評価報告書主執筆者。「クローズアップ現代+ (NHK)」、「NEWS23 (TBS)」などメディアにも多数出演。

- ・事例発表①「気候変動がもたらすビジネスへの影響～ESGの視点から～」

講師：三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
環境戦略アドバイザー一部
チーフ環境・社会(ES)ストラテジスト
^{よしただ} 吉高 まり 氏

- ・事例発表②「東邦ガスの地域社会への貢献～低炭素社会の実現に向けて～」

講師：東邦ガス(株)
CSR環境部長 ^{よつや ただし} 肆矢 直司 氏

- ・トークセッション「低炭素社会の実現に向けた社会構造の転換」

^{はやかわ あつこ} 早川 敦子さん(気象予報士、名古屋文化短期大学講師)が、基調講演と事例発表の講師を交えてトークセッションの進行を行います。

4 申込方法

下記Webページの、応募フォームにより、もしくは参加申込書をダウンロードし、FAX又はEメールにより、12月18日(水)までにお申込みください(入場無料・申込先着順250名)。

なお、応募者多数により参加いただけない場合は、ご連絡します。

Web ページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/forum2019.html>

FAX : 052-955-2029

Eメール : ondanka@pref.aichi.lg.jp

5 その他

- ・ご来場には、公共交通機関をご利用ください。
- ・資料印刷により排出されるCO₂を削減するため、講演資料の「ペーパーレス化」を推進します。プログラムと資料を、順次、上記Webページ上に掲載しますので、ノートパソコン・タブレット等をお持ちの方は、データを保存してご持参いただく等、ペーパーレス化にご協力ください。なお、電源はご自身での確保をお願いします。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

12月は地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間です



私たちが日ごろ使用しているエアコン等の電化製品や自動車は、生活を便利にしてくれる反面、エネルギーを大量に消費し、地球温暖化や大気汚染を引き起こす原因の一つとなります。

12月は、1997年に気候変動枠組条約第3回締約国会議（UNFCCC・COP3、京都会議）が開催された月であることから、環境省により「地球温暖化防止月間」と定められ、全国で地球温暖化防止に関する各種取組が実施されています。

また、12月は暖房機器の使用や自動車交通量の増加に伴い、窒素酸化物などの大気汚染物質の排出量が多くなります。さらに、この季節の大気は安定しているため、汚染物質が拡散しにくく、地上付近の空気が一年で最も汚れやすくなることから、環境省は12月を「大気汚染防止推進月間」としています。

愛知県では、この月間中に、工場・事業場への立入検査の強化により大気汚染物質の排出抑制指導を行うとともに、各種広報媒体を通じた啓発活動を実施します。

また、県は県民一人一人に温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を呼びかける「あいちCOOL CHOICE」県民運動を展開しています。LED照明を使う、ウォームビズ（暖房時の室温を20℃目安で快適に過ごすラ

イフスタイル）に取り組む、エコドライブを実践する、ウォームシェア（一つの場所に集まって暖かさを分かち合う）に取り組むなど、この月間をきっかけに、毎日の生活の中で一人一人が自分にできることから行動しましょう。

詳細はWebページをご覧ください。

○「あいちCOOL CHOICE」県民運動
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/aichicoolchoice.html>)

○地球温暖化防止月間・大気汚染防止月間
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/12chikyutaiki2019.html>)



かしこく選んで、地球よろこぶ

「あいちCOOL CHOICE」
ロゴマーク

【「あいち COOL CHOICE」の取組例を紹介中！】

県では、「あいち COOL CHOICE」の取組により削減されるCO₂排出量や節約金額を「見える化」し、愛・地球博公式キャラクターのモリゾー・キッコロと、家庭でできる温暖化対策について楽しく学べる啓発動画を作成しましたので、是非ご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/co2movie2019.html>)

◆地球温暖化・大気汚染の防止にご協力を◆

地球温暖化をもたらす二酸化炭素濃度は年々増え続けています。
また、冬は暖房機器等の使用により空気が汚れやすい季節です。
家庭でできる小さな心がけで、地球温暖化・大気汚染を防止しましょう。

- 重ね着などの工夫で暖房は室温 20℃を目安にしましょう。
- 照明や電化製品はこまめにスイッチを消しましょう。
- こたつなどの設定温度はこまめに調節しましょう。
- 不要なアイドリングや、急発進、急加速を避けるなど、エコドライブに努めましょう。
- 公共交通機関や自転車を利用しましょう。



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)
水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6456 (ダイヤルイン)



まなびや
もりの学舎 冬の特別イベントを実施します！



環境学習施設「もりの学舎」では、冬の特別イベントとして、親子で参加できる工作教室を開催します。

参加費は無料、先着順で予約を受け付けています。多くの方のご参加をお待ちしています。

1 開催日時とプログラム

12月21日(土)、22日(日)

①ちびっこクラフト 10:30~11:50

②おやこクラフト 13:30~15:30

2 対象、募集人数及び内容

(1)ちびっこクラフト

幼児(3~6歳)と保護者、各日20名程度(保護者1名につき幼児2名まで)

森で探した材料で、来年の森の干支かざり(イメージ)干支である「ねずみ」の干支かざりを作ります。



(2)おやこクラフト

小学生と保護者、各日20名程度(保護者1名につき小学生2名まで。小学生未満は同伴できません。)

縄をなってお正月かざりを作ります。



お正月かざり
(イメージ)

3 開催場所及び申込・問合せ先

もりの学舎(愛・地球博記念公園内)

電話:0561-61-2315 FAX:0561-61-2328

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/r1-winter-craft.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

エコキャラの優秀作品が決定しました



愛知県では、日常生活の中で行う身近な環境配慮行動「エコアクション」を推進しており、この一環として、中学生以下の方を対象にエコアクションを題材としたマスコットキャラクター「エコキャラ」を7月16日から9月6日まで募集しました。

その結果、334作品の応募があり、このたび、優秀作品14作品を決定しました。

【愛知県知事賞】



【刈谷市長賞】



【エコアクション賞】



【OS☆U賞】



エコキャラ名	エコボン
名前 学校名・学年	田中 小春 さん 知多市立八幡小学校 6年生

エコキャラ名	エコのようせい エコリー
名前 学校名・学年	片山 楓音 さん 刈谷市立住吉小学校 6年生

上記の入賞作品は、今後の広報の中で積極的に活用させていただく予定です。

佳作10作品についてはWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/ecochara2019.html>)

エコキャラ名	エコキャン	エコキャラ名	エコりん
名前 学校名・学年	倉知 永 さん 刈谷市立富士松東小学校 6年生	名前 学校名・学年	三浦 音愛 さん 刈谷市立雁が音中学校 2年生

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

「第2回アスベスト対策に関する講習会」を開催します



アスベスト（石綿）は過去に建築物等の材料として多く使用されており、アスベストが使用されている建築物等の解体作業を行うときは、大気中に飛散させないように、大気汚染防止法等に基づき、適切な措置をとることが重要です。

このため愛知県では、今年度、アスベストの飛散防止対策等に関する講習会を全3回シリーズで開催することとしており、このたび、第2回の講習会を開催しますので、是非ご参加ください。

- 1 日時 12月20日（金）13:30～16:00
- 2 場所 愛知県西三河総合庁舎 10階 大会議室
（岡崎市明大寺本町1-4）
- 3 定員・参加費 200名（申込先着順）・無料
- 4 主催 愛知県アスベスト対策協議会
愛知県

5 主な内容

講演：「災害時に備えたアスベスト対策並び法改正に向けた動向」

講師：（一社）日本アスベスト調査診断協会

理事長 ^{もとやま ゆきよし} 本山 幸嘉 氏

6 申込方法

①所属 ②氏名 ③参加人数 ④連絡先（電話番号、FAX番号、Eメールアドレス）を記載の上、FAX（052-961-4025）又はEメール（mizutaiki@pref.aichi.lg.jp）により、12月16日（月）までに環境局環境政策部水大気環境課宛てお申込みください。

詳細はWebページをご覧ください。

（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/asbestos011220.html>）

〔 水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン） 〕

「エコプロ2019」の愛知県ブースに、優れた環境技術を有する企業・団体が出展します



愛知県内の優れた環境技術を有する企業・団体を広く紹介し、商談や宣伝の機会を提供するため、東京で開催される「エコプロ2019」（環境の総合展示会）に愛知県ブースを出展します。

本ブースでは、公募のうえ選定した10社の環境技術や3R製品を発信するとともに、本県の循環ビジネス支援施策も紹介します。

入場は無料ですので、是非お越しください。

○ エコプロ2019の概要

会 期	12月5日（木）～7日（土）
開場時間	10:00～17:00
会 場	東京ビッグサイト西ホール （東京都江東区） ※入場登録方法等の詳細は、Webページをご覧ください。 （ http://eco-pro.com/2019/ ）
主 催	（一社）産業環境管理協会、日本経済新聞社

○ 愛知県ブースに出展する企業（五十音順）

企業名	（所在地）
（株）イーズライフ	（安城市）
（株）ウェイトボックス	（名古屋市）
（有）サンメンテナンス工機	（名古屋市）
シーピーセンター（株）	（みよし市）
（合同）W. ファイルシステム	（豊川市）
中部エコバイオ（合同）	（小牧市）
（株）富田組	（田原市）
（株）マキテック	（名古屋市）
メトロ電気工業（株）	（安城市）
（株）ランド	（一宮市）

10社

〔 資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233（ダイヤルイン） 〕

「第6回三河湾大感謝祭」を開催しました

愛知県では、「三河湾環境再生プロジェクト」の一環として、2014年度から「三河湾大感謝祭」を開催しています。今年度は、10月20日（日）に碧南市の大浜漁港で、多くの皆さんに三河湾への関心を持っていただくとともに、「海の豊かさを守ろう」を始めとしたSDGsについて知っていただくことを目的に、「第6回三河湾大感謝祭」を開催しました。

ステージでは、アウトドア派タレントの鉄崎幹人さんが三河湾環境トークショーを行い、三河湾の生きものや海ごみの問題などについて熱く語っていただきました。また、三河湾環境再生パートナーシップ・クラブの会員が海岸清掃などの活動紹介を行いました。



鉄崎幹人さんによる三河湾環境トークショー



活動紹介を行う県立三谷水産高等学校

さらに、キッズダンスや三河湾クイズなどのほか、アイドルグループの名古屋CLEAR'Sが、ミニライブとともに来場者と会場清掃を行いました。



名古屋CLEAR'Sと来場者による会場清掃

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブの会員を始め各団体のブースでは、海の生きものの展示やタッチプール、海の生きものの缶バッジやペーパーキャップづくりなどにより、楽しみながら三河湾の生きものなどについて知っていただきました。



タッチプール



海洋楽教室

また、海洋楽研究所による本物そっくりロボットを使った海洋楽教室には多くの皆さんが詰めかけ、熱心に解説に聞き入っていました。

そのほか、マイエコバッグづくりやアサリの詰め放題、食べられる容器を使用した「へきなん焼きそば」の無料試食会にも多くの方に参加いただき、ごみを減らし海の豊かさを守ることの大切さについて、楽しみながら体験していただきました。



マイエコバッグづくり



へきなん焼きそば
(食べられる容器使用)

当日は、さわやかな秋晴れのもと、多くの皆さんにご来場いただき、様々な形で三河湾の魅力に触れ、SDGsについて考えていただく一日となりました。

〔 水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン) 〕

食品ロス削減シンポジウムを開催しました



食品ロス（食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品）削減の取組を促進するため、10月26日（土）に豊橋調理製菓専門学校（豊橋市八町通）で「食品ロス削減シンポジウム」を開催し、約60名の方に参加いただきました。

始めに、講演として、安城市出身の料理研究家寺田真二郎さんに登壇いただき、「家庭でできる食品ロス削減について」と題し、野菜や調味料の長持ちする保存法などの家庭ですぐに実践できる取組について、クイズを交えながらお話いただきました。



寺田真二郎さんによる講演の様子

続いて、食品ロス問題について詳しい愛知工業大学経営学部教授の小林富雄さんと、(株) Mizkan Holdings の執行役員新規事業開発グループリーダー石垣浩司さんに、「企業における食品ロス削減の取組について」と題して対談を行っていただきました。



対談の様子

石垣さんから食材をまるごと使った商品「ZENB」について説明を受けた後、お二人から「それまで廃棄されていた酒粕を原料にして粕酢を作った創業当時の社風が、今回の食材を捨てることなく全て使う新商品の開発の根底にあるのかもしれない」、「食品ロスの削減のためには、事業者・消費者とも、

食べ物に対する愛が重要である」等、貴重なお話をしていただきました。

その後、会場を調理実習室に移し、再び寺田真二郎さんに登壇いただき、余りがちな野菜をつかった「イタリアンあんかけかた焼きそば」と、蓮根を皮ごと使った「もちもち蓮根まんじゅう」の調理実演と調理講習を行いました。

まず、寺田さんにお手本を実演していただいた後、各グループに分かれ、寺田さんのアドバイスのもと調理を行い、実際に体験しながら食品ロスの削減方法について学んでいただきました。



調理実演の様子



調理講習の様子

今回のシンポジウムについて参加者の方からは、「食品ロスの多さに驚いた。このシンポジウムを機に家でも実践したい」、「企業の取組が興味深かった」、「具体的に調理方法を学べて参考になった」などの感想をいただきました。

愛知県では、食品ロスを含む廃棄物削減の取組が県民の皆さんに一層広がっていくよう、今後も様々な啓発を進めていきます。

〔 資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン) 〕

高濃度 PCB を使用している電気機器等の掘り起こし調査にご協力をお願いします



PCB（ポリ塩化ビフェニル）は、1968年に起きたカネミ油症事件の原因物質で、化学的に安定で、電気絶縁性が高い等の性質を持つことから、電気機器等に使用されていました。

PCBを使用している電気機器等は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」等で、法で定める期間内に使用を終え、処分しなければならないとされています。このうち、高濃度の PCB を使用している電気機器等の処分期限は以下のとおりで、この期間を過ぎると処分できなくなるだけでなく、法により罰則が適用されることもあります。

高濃度 PCB の処分期限

【安定器】



2021年3月31日まで

【汚染物等】



【変圧器】



2022年3月31日まで

【コンデンサー】



※安定器は、蛍光灯や水銀灯などの照明器具に使用されています。
(高濃度 PCB が入った安定器は、住宅にはありません。)

<掘り起こし調査にご協力ください>

高濃度 PCB の処分は、中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) しかできません。処理には時間がかかりますので、PCB を使用している可能性のある電気機器等をお持ちの方には、速やかに PCB 含有の有無を確認し、余裕をもったスケジュールで確実に処分していただく必要があります。

このため、現在、愛知県では、1977年3月以前に建てられた住宅以外の建物をお持ちの方や、変圧器やコンデンサーを使用、または、過去に使用していた方に対し、PCB を含有する電気機器の所有の有無について、電話や郵送による調査(掘り起こし調査)を実施しています。

ご回答いただいた内容を元に、今後、処理や届出等のご案内をいたしますので、調査対象の方は必ず電気機器の PCB 含有の有無を確認し、ご回答いただきますようお願いいたします。(なかった場合も「なし」とご回答ください。)

電気機器の PCB 含有の有無は、照明器具の場合、器具本体のラベルや安定器 (器具内部にある筆箱く

らいの大きさのもの) のラベルに記載されているメーカー名、型番等の情報を元に各メーカーに問い合わせることで確認できます。

また、変圧器やコンデンサーの場合は、銘板に記載されているメーカー名、製造年等の情報や、過去のメンテナンス記録により確認できます。ただし、銘板を確認するため通電中の電気機器に近づくと、感電の恐れがあり大変危険ですので、必ず変圧器等を管理する電気主任技術者等に相談の上、確認してください。

なお、県では、この調査を(株)イープラネットに委託して行っています。お問い合わせ、回答は以下までお願いします。

<問い合わせ窓口 兼 回答先>

(株)イープラネット

電話：0120-022-784 (平日の9時から17時まで)

Eメール：pcb.jimukyoku@eplanet.jp

資源循環推進課廃棄物監視指導室
指導グループ
電話 052-954-6237 (ダイヤルイン)

「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット」を ご利用ください



愛知県では、県民の皆さんの自発的な地球温暖化対策活動を支援するため、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」を開設しています。

「温暖化まなびネット」では、地球温暖化について深く理解し、講演会の講師や環境学習の指導者等として登録いただいた個人や団体を紹介しています。学校や職場、町内会などの身近な場での活動の際には是非ご利用ください。

1 「温暖化まなびネット」の利用方法

県地球温暖化対策課の Web ページから、登録された講師の方への講演や環境学習講座等を温暖化まなびネット事務局へ依頼することができます。

依頼手順

- (1) Web ページの講師登録リストから希望する講師を選定
- (2) 希望する日時、場所、人数等を所定の様式に記入し事務局へメールなどで送付
- (3) 事務局・講師と実施内容の打合せ
- (4) 講演や環境学習講座の実施

2 講師登録リスト

現在、32 の個人及び団体に講師や指導者として登録いただいています。新たに講師などとして登録いただける方も募集していますので、熱意・経験のある方の登録をお待ちしています。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet.html>)

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)



「あいちウォームシェア2019」を実施しています



愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択 (COOL CHOICE)」を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動を昨年度から実施しています。

その取組の一つとして、暖房機器の使用を見直し、公共施設や商業施設の「シェアスポット」に出かけて暖かさを分かち合う「あいちウォームシェア2019」を昨年度に引き続き実施しています。シェアスポットに出かけて、応募いただいた方の中から、抽選で100名の方に賞品が当たります。

また、ご家庭でも家族みんなが一つの部屋に集まることで、ウォームシェアに取り組むことができます。皆様のご参加をお待ちしています。

1 実施期間

2019年11月1日(金)～2020年3月31日(火)

2 参加方法及び応募方法

ご家庭の暖房を使用する代わりに、シェアスポットへお出かけください。

シェアスポットで配布しているチラシに記載されたアンケートにお答えいただき、必要事項をご記入の上、郵送又はFAXによりご応募いただくか、愛知県電子申請届出システムでご応募ください。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/warmshare.html>)

3 応募資格

愛知県内にお住まいの方

4 賞品

	賞品	メーカー	当選者数
A	おもいのフライパン	石川鍛造(株)	10名
B	NEW 暖暖あったか節電マット	(株)メイダイ	20名
C	鍋つゆ	(株)ミツカン	70名
	粉末緑茶(吉良茶)	お茶のながや	

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

1 今後の天候の見通し

先月号では、11月頃から観測される初霜について触れました。

名古屋地方気象台は、その年初めて結氷や雪、積雪を観測した日についても記録しており、過去5年間、いずれも12月以降に観測されています(表1)。中でも、0℃を下回ると発生する結氷は全て12月中に観測していますが、今年度はどうでしょうか。

名古屋地方気象台は、東海地方における今後の見通しについて、寒気の影響を受けにくく気温は高くなり、晴れの日が多くなると予測しています。

2 愛知県の特徴と雪日数

太平洋側に位置する本県は、10月から2月頃にかけて雨が少なく、乾燥しやすいことが特徴です。その中でも尾張地方に限っては、関ヶ原などの山あいを通る「伊吹おろし」と呼ばれる季節風により降雪がしばしばみられ、積雪となることもあります。

名古屋地方気象台の統計によれば、名古屋で雪が降る日(雪日数)は緩やかに減少しており、10年間当たり0.8日ずつ減っています(図1)。

3 気候変動によるノリへの影響と適応策

四季が明確なわが国では、農作物や海産物において、時季に合った味わいや、その年初めての「初物」を珍重するなど、「旬」が存在します。

冬を中心に岩場で生育するノリもその一つで、12月頃になると各地から「新ノリ」の便りがもたらされます。ノリは本県の主要な水産物であり、生産枚数3.5億枚(2017年)、全国第7位のシェアを誇り、主な生産地は常滑市、西尾市、田原市、南知多町、美浜町が挙げられます。

近年、このノリの養殖期間が地球温暖化の影響により短くなっています。ノリの養殖は海水温が重要で、水温23℃まで下がると種付けした養殖網を漁場に張りますが、水温23℃になるのが10月の第1週から、2週目、3週目と遅れるようになりました。さらに、再び水温が上がる時期も早くなっているために全体の生育期間が短くなり、養殖期間の減少につ

ながっています。

こうした現象に適応するため、国は「農林水産分野における気候変動対応のための研究開発」として24℃以上で生育可能なノリ品種を研究し、本県の水産試験場でも高水温に強いノリ品種「あゆち黒蒼れ^{くろほまれ}」を開発するなど、地球温暖化への適応策が進められています。

4 宅配便の受取時の気遣い(緩和策)

温暖化対策は温暖化の原因となるCO₂を削減する緩和策も重要であり、県は地球温暖化防止のための賢い選択「あいち COOL CHOICE」県民運動の取組の1つとして、「宅配便をできるだけ1回で受け取る」ことを推奨しています。

国土交通省は、宅配便の再配達により年間42万t-CO₂を排出し、9万人相当もの労働力をロスしていると試算しています。最近では、コンビニ等での受取やオープン型宅配ボックスの活用など、受取方法も多様化していますので、お仕事やご家庭の状況に合わせた無駄のない受取方法を選択しましょう。

表1 名古屋における結氷・雪・積雪の初観測日

年度	2014	2015	2016	2017	2018
結氷	12月8日	12月18日	12月7日	12月6日	12月11日
雪	12月6日	1月18日	12月16日	12月13日	12月28日
積雪	12月17日	1月20日	1月14日	12月27日	12月29日

(名古屋地方気象台の観測データを基に作成)

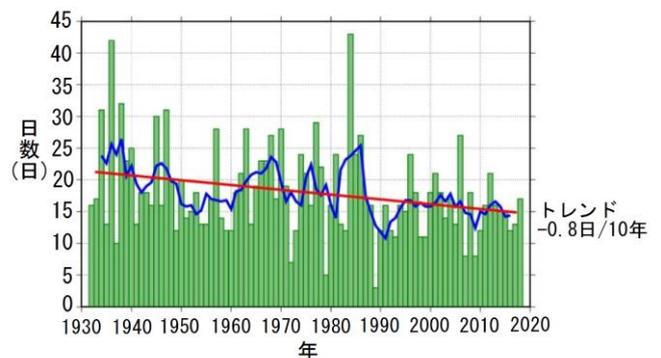


図1 名古屋における年間雪日数

(出典:名古屋地方気象台)

環境調査センター 企画情報部
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

前回の続きで伝統ある生^{おいだいら}平小学校の取組をご紹介します。

1 現在の愛鳥活動

38年間続く生平小学校の愛鳥活動ですが、児童数減少で活動が制限されることや下校後の児童の生活様式の変化などにより、児童の野鳥に関する知識と、愛鳥活動への意欲の低下が問題になってきました。そこで、昨年度より新しい取組を始めています。

(1) 愛鳥委員会の復活

2015年に廃止した愛鳥委員会を昨年度復活させ、3つの改革を行いました。

① 野鳥ギャラリーのリニューアル

写真だけの表示から愛鳥委員解説付きの表示へと変えた結果、低学年の児童は解説を見ることで、野鳥を見分けるポイントが分かるようになりました。

② 野鳥検定の改定

問題を低中高学年用にレベル分けし、野鳥博士になるチャンスが増えるようにしています。愛鳥委員が作成する野鳥検定対策プリントの活用もあって、合格率が飛躍的に向上しています。

③ ウォッチングカードの改定

カードの簡素化や全校児童分の掲示を行っています。愛鳥委員が枚数の多い児童を紹介することで意欲が向上し、一か月で20枚以上かく児童もいます。

(2) 各学年の取り組み

① マスコットバードの変更〈1・2年〉

1年生は、「カワセミ」を「学校でみられる鳥」に変更し、学校に飛来するすべての鳥を、「特別な自分たちの鳥」として観察、記録しています。



1年生探鳥の様子

2年生も同様に、「学区でみられる鳥」に変更した結果、水鳥についての知識も深まっています。

② 学区老人会へ協力要請〈3年〉

3年生は「セキレイ」の学区分布調査を、老人会の方とともに活動しています。



③ 新たな視点の追加〈4年〉

老人会お願いの様子

4年生は長年、ツバメの調査を行っています。天敵であるカラスもマスコットバードにすることで、カラスとツバメ、人間との関係性を調査しています。

④ 野鳥の楽園づくり〈5・6年〉

5年生は、学校裏山の「ふるさと池」にカワセミを呼び込む活動を進めています。専門家から営巣に適した条件を教えていただき、



親子での給餌台作成

生態系豊かな池づくりに取り組んでいます。

6年生は、野鳥の楽園「バードピア生平」を作るために、裏山への給餌台設置等の活動をしています。

2 愛鳥活動を未来に

現在、児童たちは意欲的に活動していますが、児童だけでは対応できない力仕事や高所での作業もあります。そこで、愛鳥委員が学区へ向けて「バードピア生平サポーター」を募集したところ、早速参加希望者が集まり、作業が始まっています。

愛鳥活動を生平小学校の伝統から生平学区の文化にしたい、生平をいつまでも野鳥のすみ続ける町にしたい、と未来に向けて愛鳥活動を続けています。

2回に渡り生平小学校の活動を紹介しました。未来を担う子どもたちの主体的な活動が、これからも地域とともに一歩ずつ前進してほしいと願います。

また、このような若い世代の活動が県内各地へ広がるよう、県として取り組んでいきます。

〔自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
令和元年12月2日発行(第283号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

12月は地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間です。これから本格的な寒さが訪れようとしています。家の中でも暖かく過ごしたいと思い、先日「着る毛布」を購入しました。着心地がとても良く、暖房の設定温度を下げても快適に過ごすことができます。

暖かい衣服を重ね着したり、皆が同じ部屋に集まったりするなど、身近な取組で地球環境を守りましょう。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。